



園だより

文京区立第一幼稚園
2022年度4月号

URL <http://www.bunkyo-tky.ed.jp/dai1-kg/>

かけがえのない幼児期を豊かに

園長 田村 秀子

明るい春の日差しの中、チューリップやヒヤシンス、キンギョソウ、マーガレットなどが綺麗に咲いて、子供たちの入園、進級をお祝いしてくれているようです。保護者の皆様におかれましては、お子さまのご入園、ご進級、おめでとうございます。

文京区立第一幼稚園は明治20年に開園し、今年で135周年を迎えます。明治の時代に「教育は幼児から」とお考えになった西片の方々が行政にも働きかけ、誠之小学校の中に誠之小学校附属幼稚室ができたことが始まりです。その当時の設置願には、設置の目的として「幼児ヲシテ天賦の知覚ヲ開発シ善良ノ言行ヲ習熟シ身体ノ健康ヲ保全セシメ以テ家庭ノ教育ヲ裨シ学校教育ノ基ヲ成スヲ以テ目的トス」と書かれています。幼児が生まれながらにも持っている力を開発すること、良い行いを身に付けて健康な身体をつくること、家庭教育を助け補うこと、小学校教育の基礎をつくることを100年以上前に考えた方々がいらしたことに深い感銘を覚えます。第一幼稚園はこのように古い資料がたくさんあり、園・地域・行政が協力して園児が伸び伸びと遊べる環境を整え、園児の育成に力を注いできたことが読みとれます。135周年の年に改めて歴史を振り返り、幼児教育について共に考える機会になればと思います。

第一幼稚園の伝統は誠実で熱心な先生方により135年間引き継がれ、今も、子供たち一人一人が伸び伸びと自分らしさを発揮し、くるくるまわるかざぐるまのように楽しく響き合う生活をめざして、創造的な保育の実践に努めています。

幼児期は、柔らかい心で様々なものを吸収していく時期です。よい生活習慣やものごとへの気持ちの向け方、自分の表現の仕方、人の気持ちを感じとる力、意欲をもって何でもやってみようとする気持ち、人への信頼感、人を受け入れる気持ちなど、大きくなってからでは身に付きにくいものや他人が教えることができないものを、幼児は日々の生活の中で自然に吸収していきます。幼児の近くで生活する人は全て幼児のモデルとなり、言動や気のもち様まで幼児は吸収しますから、責任重大です。人格形成の基礎を培う幼児期に、生きる力の根となる意欲、感性、思いやり、集中力、発想力、思い通りにならなくてもめげない心などの非認知能力をしっかりと育てることができるよう、日々の環境を工夫し、温かいつながりの中で保育を進めてまいります。

引き続き感染予防を続けながら、活動や行事を工夫し、保護者・地域の皆様とのコミュニケーションを大切に、一人一人がかけがえのない幼児期を豊かに過ごせるように力を尽くしてまいります。今年度も温かいご理解、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

<今年度の教職員組織は、以下の通りです> ※アンダーラインは新しい職員です。

- 園長 田村 秀子 ○副園長 工藤 真規子
- 年少赤組 稲見 泳子 ○年中桃組 会田 朋代 ○年中黄組 新井 加奈未
- 年長紫組 本合 真奈美 ○年長緑組 齊藤 愛美
- 特別保育支援員 黒澤 明子 田口 さおり 大熊 淳子 瀧田 陶子
岡谷 聖美 安田 明希子 竹林 理恵 寺垣内 朱音
- 預かり保育職員 刑部 裕美子 林 敦子 栗田 三枝子 阿部 千絵子
上原 昌志
- 用務主事 石渡 進 小林 一男 植田 カツ子
- 事務補助 平尾 起久子 ○看護師 金子 海子
- 育児休業中 岡野 成美

よろしく申し上げます。

<昇任・退職>

- 和島 千佳子 (青柳幼稚園 園長に) ○澤田 亮 (湯島幼稚園 副園長に)
- 伊東 千鶴 (看護師) (退職) お世話になりました。